

保存修復

日付

学籍番号

名前

情報収集	診療内容													
	年齢・性別	≪症例≫ (部位・症状)												
	基礎疾患等													
	服薬													
患者観察・治療内容・補助介助内容	≪観察・インタビュー≫ 治療前→治療中→治療後	≪治療内容・使用器具器材≫					≪自分または DH が行った具体的内容≫ 自分が行った内容には●をつける							
考察														
自己評価	充填処置の術式を理解し器具器材の準備と介助ができる	5	4	3	2	1	該当なし	アルジネート印象採得ができる	5	4	3	2	1	該当なし
	鑄造修復の術式を理解し器具器材の準備と介助ができる	5	4	3	2	1	該当なし		5	4	3	2	1	該当なし
	修復物別の研磨器具および方法を理解し、器具器材の準備と介助ができる	5	4	3	2	1	該当なし		5	4	3	2	1	該当なし
	各種印象材の特性を理解し正確な計量と操作ができる	5	4	3	2	1	該当なし		5	4	3	2	1	該当なし
	連合印象材の操作ができる	5	4	3	2	1	該当なし	アルジネート印象採得ができる	5	4	3	2	1	該当なし
	治療部位に応じたバキューム操作ができる	5	4	3	2	1	該当なし	術者との効率的な連携がとれる	5	4	3	2	1	該当なし
	治療前・治療中・治療後の患者観察ができる	5	4	3	2	1	該当なし	余剰セメントの除去ができる	5	4	3	2	1	該当なし
	患者の安全に配慮した対応ができる	5	4	3	2	1	該当なし	治療前・後の患者指導ができる	5	4	3	2	1	該当なし

※1 学生は、実習日ごとに見学した一つの症例を選び記入する。記録は、実習日ごとに用紙を変えて実施し、次の日の実習開始までに実習指導者へ提出する。ただし、実習の最終日には提出せず大学で提出する。

※2 実習指導者の方へ：ご指導後、押印またはご署名をお願い致します。

【続き】

患者 観 察 ・ 治 療 内 容 ・ 補 助 介 助 内 容	《観察・インタビュー》 治療前→治療中→治療後	《治療内容・使用器具器材》	《自分または DH が行った具体的内容》 自分が行った内容には●をつける
--	----------------------------	---------------	---

歯内療法

日付

学籍番号

名前

情報収集	診療内容						
	年齢・性別	≪症例≫ (部位・症状)					
	基礎疾患等						
	服薬						
患者観察・治療内容・補助介助内容	≪観察・インタビュー≫ 治療前→治療中→治療後	≪治療内容・使用器具器材≫				≪自分または DH が行った具体的内容≫ 自分が行った内容には●をつける	
考察							
自己評価	歯髄保存法（歯髄鎮静法や歯髄覆罩法等）の術式を理解し器具器材の準備と介助ができる	5	4	3	2	1	該当なし
	断髄法（生活歯髄切断法や失活歯髄切断法）の術式を理解し器具器材の準備と介助ができる	5	4	3	2	1	該当なし
	根管治療（抜髄及び感染根管治療）の術式を理解し器具器材・薬剤の準備と介助ができる	5	4	3	2	1	該当なし
	根管充填の術式を理解し器具器材・薬剤の準備と介助ができる	5	4	3	2	1	該当なし
	治療部位に応じたバキューム操作ができる	5	4	3	2	1	該当なし
	治療前・治療中・治療後の患者観察ができる	5	4	3	2	1	該当なし
	治療前・治療後の患者指導ができる	5	4	3	2	1	該当なし
	患者の安全に配慮した対応ができる	5	4	3	2	1	該当なし

※1 学生は、実習日ごとに見学した一つの症例を選び記入する。記録は、実習日ごとに用紙を変えて実施し、次の日の実習開始までに実習指導者へ提出する。ただし、実習の最終日には提出せず大学で提出する。

※2 実習指導者の方へ：ご指導後、押印またはご署名をお願い致します。

【続き】

患者 観察 ・ 治療 内容 ・ 補助 介助 内容	《観察・インタビュー》 治療前→治療中→治療後	《治療内容・使用器具器材》	《自分または DH が行った具体的内容》 自分が行った内容には●をつける
--	----------------------------	---------------	---

歯周療法

日付

学籍番号

名前

情報収集	診療内容																					
	年齢・性別					《症例》（部位・症状）																
	基礎疾患等																					
	服薬																					
患者観察・治療内容・補助介助内容	《観察・インタビュー》 治療前→治療中→治療後			《治療内容・使用器具器材》					《自分または DH が行った具体的内容》 自分が行った内容には●をつける													
自己評価	歯の状態、歯間離開度測定、動揺度測定、歯周ポケット測定や炎症の有無等を説明できる										5	4	3	2	1	該当なし						
	歯肉の色、形態、位置等を説明できる					5	4	3	2	1	該当なし	歯垢付着、歯石沈着を説明できる					5	4	3	2	1	該当なし
	診査結果を客観的に評価し活用することができる					5	4	3	2	1	該当なし	査結果を患者に分かりやすく説明することができる					5	4	3	2	1	該当なし
	歯石除去に用いる器具器材の説明と準備ができる(シックル・キュレット)										5	4	3	2	1	該当なし						
	超音波スケーラーやエアースケーラーの説明と準備ができる										5	4	3	2	1	該当なし						
	シャープニングの方法を説明できる（シックル・キュレット）										5	4	3	2	1	該当なし						
	治療部位に応じたバキューム操作ができる					5	4	3	2	1	該当なし	術前・術中・術後の患者観察ができる					5	4	3	2	1	該当なし
	患者の安全に配慮した対応ができる					5	4	3	2	1	該当なし	術前・術後の患者指導ができる					5	4	3	2	1	該当なし

※1 学生は、実習日ごとに見学した一つの症例を選び記入する。記録は、実習日ごとに用紙を変えて実施し、次の日の実習開始までに実習指導者へ提出する。ただし、実習の最終日には提出せず大学で提出する。
 ※2 実習指導者の方へ：ご指導後、押印またはご署名をお願い致します。

【続き】

患者 観 察 ・ 治 療 内 容 ・ 補 助 介 助 内 容	《観察・インタビュー》 治療前→治療中→治療後	《治療内容・使用器具器材》	《自分または DH が行った具体的内容》 自分が行った内容には●をつける
--	----------------------------	---------------	---

補 綴

日付 学籍番号 名前

情報収集	診療内容																	
	年齢・性別			≪症例≫ (部位・症状)														
	基礎疾患等																	
	服薬																	
患者観察・治療内容・補助介助内容	≪観察・インタビュー≫ 治療前→治療中→治療後			≪治療内容・使用器具器材≫				≪自分または DH が行った具体的内容≫ 自分が行った内容には●をつける										
考察																		
自己評価	クラウン、ブリッジの補綴治療の手順を理解し器具器材の準備と介助ができる							5	4	3	2	1	該当なし					
	暫間被覆冠の作製、調整、仮着法を理解し準備および介助ができる							5	4	3	2	1	該当なし					
	部分床義歯、全部床義歯の補綴治療の流れを理解し器具器材の準備と介助ができる							5	4	3	2	1	該当なし					
	印象材の特性を理解し正確な計量と操作ができる							5	4	3	2	1	該当なし					
	アルジネート印象採得ができる			5	4	3	2	1	該当なし	連合印象材の操作ができる			5	4	3	2	1	該当なし
	患者の安全に配慮した対応ができる			5	4	3	2	1	該当なし	治療部位に応じたバキューム操作ができる			5	4	3	2	1	該当なし
	治療前・治療中・治療後の患者観察ができる							5	4	3	2	1	該当なし					
	補綴物装着後の口腔管理（維持管理・取扱い）の指導ができる							5	4	3	2	1	該当なし					

※1 学生は、実習日ごとに見学した一つの症例を選び記入する。記録は、実習日ごとに用紙を変えて実施し、次の日の実習開始までに実習指導者へ提出する。ただし、実習の最終日には提出せず大学で提出する。
 ※2 実習指導者の方へ：ご指導後、押印またはご署名をお願い致します。

【続き】

患者 観 察 ・ 治 療 内 容 ・ 補 助 介 助 内 容	《観察・インタビュー》 治療前→治療中→治療後	《治療内容・使用器具器材》	《自分または DH が行った具体的内容》 自分が行った内容には●をつける
--	----------------------------	---------------	---

口 腔 外 科

日付

学籍番号

名前

情報 収 集	診療内容 (手術名)						
	年齢・性別		《症例》 (部位・症状)				
	基礎疾患等						
	服薬						
患者 観 察 ・ 治 療 内 容 ・ 補 助 介 助 内 容	《観察・インタビュー》 治療前→治療中→治療後	《治療内容・使用器具器材》	《自分または DH が行った具体的内容》 自分が行った内容には●をつける				
考 察							
自 己 評 価	拔牙 (難拔牙・埋伏歯拔牙) や口腔領域の外科手術の術式を理解し、器具器材、薬剤の準備ができる	5	4	3	2	1	該当なし
	拔牙 (難拔牙・埋伏歯拔牙) や口腔領域の外科手術の術式を理解し、治療の介助ができる	5	4	3	2	1	該当なし
	各種麻酔法や麻酔薬の特性を説明できる	5	4	3	2	1	該当なし
	浸潤麻酔、伝達麻酔の準備、器具の操作ができる	5	4	3	2	1	該当なし
	治療部位に応じたバキューム操作ができる	5	4	3	2	1	該当なし
	術前・術中・術後の患者観察ができる	5	4	3	2	1	該当なし
	術前・術後の患者指導ができる	5	4	3	2	1	該当なし
患者の安全に配慮した対応ができる	5	4	3	2	1	該当なし	

※1 学生は、実習日ごとに見学した一つの症例を選び記入する。記録は、実習日ごとに用紙を変えて実施し、次の日の実習開始までに実習指導者へ提出する。ただし、実習の最終日には提出せず大学で提出する。

※2 実習指導者の方へ：ご指導後、押印またはご署名をお願い致します。

【続き】

患者 観 察 ・ 治 療 内 容 ・ 補 助 介 助 内 容	《観察・インタビュー》 治療前→治療中→治療後	《治療内容・使用器具器材》	《自分または DH が行った具体的内容》 自分が行った内容には●をつける
--	----------------------------	---------------	---

病棟

日付

学籍番号

名前

情報収集	診療内容（手術名）								
	年齢・性別		《症例》（部位・症状）						
	基礎疾患等								
	服薬								
	これまでの経過		現在の状態（主症状、バイタルサイン等）						
患者観察・指導・援助内容	《観察・インタビュー》		《指導・援助内容》						
	1.食事(環境、形態・摂取方法、障害、満足度等)								
	2.口腔の清掃状態(歯、歯肉、口唇、付着物、清掃方法等)								
3.その他									
考察									
自己評価	モニタリングの準備と説明ができる（バイタルサイン）		5	4	3	2	1	該当なし	
	入院患者の生活援助（食事・口腔衛生）を理解できる		5	4	3	2	1	該当なし	
	入院患者の口腔状態に応じた食事形態を理解できる		5	4	3	2	1	該当なし	
	術前・術中・術後の看護援助、口腔管理が理解できる		5	4	3	2	1	該当なし	
	患者の安全に配慮した対応ができる		5	4	3	2	1	該当なし	

※1 学生は、実習日ごとに見学した一つの症例を選び記入する。記録は、実習日ごとに用紙を変えて実施し、次の日の実習開始までに実習指導者へ提出する。ただし、実習の最終日には提出せず大学で提出する。

※2 実習指導者の方へ：ご指導後、押印またはご署名をお願い致します。

【続き】

患者 観 察 ・ 指 導 ・ 援 助 内 容	«観察・インタビュー»	«指導・援助内容»

小児歯科

日付

学籍番号

名前

情報収集	診療内容							
	年齢・性別		≪症例≫ (部位・症状)					
	基礎疾患等							
	服薬							
患者観察・治療内容・補助介助内容	≪観察・インタビュー≫ 治療前→治療中→治療後	≪治療内容・使用器具器材≫				≪自分またはDHが行った具体的内容≫ 自分が行った内容には●をつける		
考察								
自己評価	対象者（小児）の発達段階を理解している	5	4	3	2	1	該当なし	
	心身の発達に応じた対応と歯科治療時の介助ができる	5	4	3	2	1	該当なし	
	治療部位に応じたバキューム操作ができる	5	4	3	2	1	該当なし	
	治療前・治療中・治療後の患者観察ができる	5	4	3	2	1	該当なし	
	患者の安全に配慮した対応ができる	5	4	3	2	1	該当なし	
	治療前・治療後の患者指導ができる	5	4	3	2	1	該当なし	

※1 学生は、実習日ごとに見学した一つの症例を選び記入する。記録は、実習日ごとに用紙を変えて実施し、次の日の実習開始までに実習指導者へ提出する。ただし、実習の最終日には提出せず大学で提出する。

※2 実習指導者の方へ：ご指導後、押印またはご署名をお願い致します。

【続き】

患者 観察 ・ 治療 内容 ・ 補助 介助 内容	《観察・インタビュー》 治療前→治療中→治療後	《治療内容・使用器具器材》	《自分または DH が行った具体的内容》 自分が行った内容には●をつける
--	----------------------------	---------------	---

矯正歯科

日付

学籍番号

名前

情報収集	診療内容								
	年齢・性別		《症例》（部位・症状）						
	基礎疾患等								
	服薬								
患者観察・治療内容・補助介助内容	《観察・インタビュー》 治療前→治療中→治療後	《治療内容・使用器具器材》	《自分またはDHが行った具体的内容》 自分が行った内容には●をつける						
考察									
自己評価	矯正装置の種類と適応症が理解できる	5	4	3	2	1	該当なし		
	矯正治療の器具器材の準備ができる	5	4	3	2	1	該当なし		
	矯正治療の介助ができる	5	4	3	2	1	該当なし		
	治療部位に応じたバキューム操作ができる	5	4	3	2	1	該当なし		
	治療前・治療中・治療後の患者観察ができる	5	4	3	2	1	該当なし		
	患者の安全に配慮した対応ができる	5	4	3	2	1	該当なし		
	矯正装置の取扱いについて説明できる	5	4	3	2	1	該当なし		
	模型、口腔内写真、X線写真の資料の整理ができる	5	4	3	2	1	該当なし		

※1 学生は、実習日ごとに見学した一つの症例を選び記入する。記録は、実習日ごとに用紙を変えて実施し、次の日の実習開始までに実習指導者へ提出する。ただし、実習の最終日には提出せず大学で提出

※2 実習指導者の方へ：ご指導後、押印またはご署名をお願い致します

【続き】

患者 観 察 ・ 治 療 内 容 ・ 補 助 介 助 内 容	《観察・インタビュー》 治療前→治療中→治療後	《治療内容・使用器具器材》	《自分または DH が行った具体的内容》 自分が行った内容には●をつける
--	----------------------------	---------------	---

歯科放射線

日付

学籍番号

名前

情報収集	診療内容											
	年齢・性別		≪症例≫ (部位・症状)									
	基礎疾患等											
	服薬											
患者観察・治療内容・補助介助内容	≪観察・インタビュー≫ 治療前→治療中→治療後		≪治療内容・使用器具器材≫					≪自分またはDHが行った具体的内容≫ 自分が行った内容には●をつける				
考察												
自己評価	撮影時の器具器材の準備と介助ができる						5	4	3	2	1	該当なし
	撮影時の照射位置、フィルム、タイマーのセッティング等について説明できる						5	4	3	2	1	該当なし
	デジタルレントゲン装置の操作ができる						5	4	3	2	1	該当なし
	歯科用レントゲン装置、自動現像器の操作ができる						5	4	3	2	1	該当なし
	フィルムの現像、現像済みフィルムの整理ができる						5	4	3	2	1	該当なし
	患者の安全に配慮した対応ができる						5	4	3	2	1	該当なし

※1 学生は、実習日ごとに見学した一つの症例を選び記入する。記録は、実習日ごとに用紙を変えて実施し、次の日の実習開始までに実習指導者へ提出する。ただし、実習の最終日には提出せず大学で提出する。

※2 実習指導者の方へ：ご指導後、押印またはご署名をお願い致します。

【続き】

患者 観察 ・ 治療 内容 ・ 補助 介助 内容	《観察・インタビュー》 治療前→治療中→治療後	《治療内容・使用器具器材》	《自分または DH が行った具体的内容》 自分が行った内容には●をつける
--	----------------------------	---------------	---

障がい者 歯科

日付 学籍番号 名前

情報 収集	診療内容		障がい名		名前			
	年齢・性別		症例（部位・症状）					
	基礎疾患等		各種手帳の有・無					
	服薬の有・無		発達年齢					
患者 観察 ・ 治療 内容 ・ 補助 介助 内容	«観察・インタビュー» 治療前→治療中→治療後		«治療内容・使用器具器材»			«自分または DH が行った具体的内容» 自分が行った内容には●をつける		
考察								
自己 評価	障がいの種類を説明できる		5	4	3	2	1	該当なし
	障がいの特徴を説明できる		5	4	3	2	1	該当なし
	障がいに応じた口腔内の特徴を説明できる		5	4	3	2	1	該当なし
	診療時の補助、介助ができる		5	4	3	2	1	該当なし
	薬物を用いない対応方法を理解し説明できる(抑制具、TSD 法、モデリング法等)		5	4	3	2	1	該当なし
	患者の安全に配慮した対応ができる(前投薬、笑気吸入鎮静法、聴覚減通法、全身麻酔)		5	4	3	2	1	該当なし

※1 学生は、実習日ごとに見学した一つの症例を選び記入する。記録は、実習日ごとに用紙を変えて実施し、次の日の実習開始までに実習指導者へ提出する。ただし、実習の最終日には提出せず大学で提出する。

※2 実習指導者の方へ：ご指導後、押印またはご署名をお願い致します。

【続き】

患者 観 察 ・ 治 療 内 容 ・ 補 助 介 助 内 容	《観察・インタビュー》 治療前→治療中→治療後	《治療内容・使用器具器材》	《自分または DH が行った具体的内容》 自分が行った内容には●をつける
--	----------------------------	---------------	---

実習Ⅲ・Ⅳ 様式 1-①

()

日付

学籍番号

名前

情報収集	実習項目														
	年齢・性別									≪症例≫ (部位・症状)					
	基礎疾患等														
	服薬														
患者観察・治療内容・補助介助内容	≪観察・インタビュー≫ 治療前→治療中→治療後			≪治療内容・使用器具器材≫					≪自分またはDHが行った具体的内容≫ 自分が行った内容には●をつける						
考察															
自己評価	()の手順が理解できた									5	4	3	2	1	該当なし
	()の準備ができた									5	4	3	2	1	該当なし
	()の介助ができた									5	4	3	2	1	該当なし
	治療部位に応じたバキューム操作ができる									5	4	3	2	1	該当なし
	対象者の観察ができる									5	4	3	2	1	該当なし
	対象者の安全に配慮した対応ができる									5	4	3	2	1	該当なし
対象者への指導ができる									5	4	3	2	1	該当なし	

※1 学生は、実習日ごとに見学した一つの症例を選び記入する。記録は、実習日ごとに用紙を変えて実施し、次の日の実習開始までに実習指導者へ提出する。ただし、実習の最終日には提出せず大学で提出する。

※2 実習指導者の方へ：ご指導後、押印またはご署名をお願い致します

【続き】

患者 観 察 ・ 治 療 内 容 ・ 補 助 介 助 内 容	《観察・インタビュー》 治療前→治療中→治療後	《治療内容・使用器具器材》	《自分または DH が行った具体的内容》 自分が行った内容には●をつける
--	----------------------------	---------------	---